

学級だより

のびのび



NO. 12

向洋小学校1年生 5月27日

元気いっぱい

学習内容をお知らせします

ひらがな学習が終わります。知っていたつもりひらがなも、形よく書くとなるとなかなか難しいものです。鉛筆の持ち方に気をつけさせましょう。マスの「4つのへや」を意識し、細かいところまでよく見て、ていねいに書きましょう。漢字よりもむしろひらがなの方こそていねいに書くことは難しいと思います。

また、宿題等を見てくださるときに、これはどうなのだろうか、ということがあると思いますので、お知らせします。

お子さんの宿題の答えが違っている場合に直させればいいのか、間違っただけでいいのか、といった相談を受けたことがあります。ていねいさを欠く場合は「先生が丸をつけてくれると思う？」と声をかけてみてください。間違っただけの場合には、次のようにお願いします。「ここ、もう一度見れば。」と声をかけたり、小さくし点を付けたりして間違いを知らせてあげてください。

国語では、のびす音(長音)はつまずきやすいところです。「あ」「い」「う」と聞こえる場合はそのまま表記できます。問題となるのが「お」と「え」です。「お」と聞こえる場合でも「う」と表記する方が多いからです。それならば、逆に「お」と表記する言葉だけを覚えて、他は「う」にすればいいのです。そこで、子どもたちには、上のように便利な唱え詩を指導しています。1年生のうちには他にも「こおろぎ、ほおずき、とおせんぼ」を覚えておきましょう。「おおやけ、おおよそ」などは高学年になったら覚えたいところです。少ないエ列表記は「おねえさん」や呼びかけの「ねえ」「へえ」「ええ」だけを覚えます。

※「とおせんぼ」「とおり道」「2とおりの考え方」などは「とおる」の関連でオ列になります。「ほお」や「ほおづえ」も「お」です。「せんせい」「とけい」「けい」となどは、子どもたちにとってはエ列のように思えるのですが、エ列ではありません。漢字に直すと「せんせえ」「とけえ」「けえと」ではないことが分かりますが、ひらがなだけなので戸惑うわけです。

と	お	く	の	うえを				
お	お	き	な					
こ	お	り	の					
お	お	く	の					
お	お	か	み					
と	お	ず	つ					
と	お	る						
※	こ	お	ろ			ぎ	ほ	お

連絡メモ

・日中の暑さを考慮し、子どもたちにはこまめに水分を摂るように指導しました。学校の水は飲んで大丈夫ですが、必要であれば水筒を持ってきて構いません。



- ①休み時間に、座って飲むこと
- ②中身はお茶であること
- ③他の人の水筒を飲まないこと